

No	施策名	事務事業の目的	R1決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	内 人件費	2 評価責任者氏名	R2決算額(円)	3 妥当性評価				内 直接事業費	4 有効性評価	内 人件費	5 効率性評価
1	参加と協働の推進	協働のまちづくり体制確立事業	6,708,778	事務事業評価					・市民との協働を推進するため、市民協働まちづくり事業補助金や啓発活動を実施している。 ・補助制度の内、チャレンジ支援、人材養成は応募が少ない状況となっている。そのため、市民活動のニーズに合った制度運用が必要である。	・市民協働まちづくり会議を主体に、市民協働や参画の仕組みについて啓発を実施した。 ・補助金制度については、応募要項の見直し、制度改正を行った。(補助実績:1団体、新規団体1団体の実績)	・市民協働や市民参加を一層推進するため、市民ニーズに適した推進方策を検討する。 ・啓発については一層分かりやすい市民参加のPR方法などについて検討する。				
	10101010		1,941,944	1 企画部 企画課	4,766,834	2 松井 茂明	7,432,716	3 高い				1,429,838	4 高い	6,002,878	5 普通
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
2	参加と協働の推進	コミュニティ活動支援事業	104,004,069	事務事業評価					自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じた活動を行っており、その自主的な地域づくり活動を推進するため、継続した支援策が必要である。	・各コミュニティ協議会へのまちづくりアドバイザー(3名)の派遣、市からの依頼業務への協力費及び地域活動に必要な運営費の助成を行うことで、地域活動の維持及び促進が図られた。	・引き続き人的支援、財政的支援を行うことで、地域活動の活性化を図る。				
	10103010		99,102,000	1 総務部 総務課	4,902,069	2 鈴木 洋充	92,339,838	3 極めて高い				88,487,000	4 高い	3,852,838	5 高い
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
3	参加と協働の推進	コミュニティ施設等整備支援事業	34,903,214	事務事業評価					自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じた必要な施設整備や備品購入等を行っており、地域コミュニティ団体のニーズに即した支援策が必要である。	・地域に必要な施設等の整備に係る費用を支援することで、地域の活動基盤の維持及び強化が図られた。	・継続した支援制度により、地域の活動拠点整備、充実、地域の強化を図る。				
	10104010		30,424,000	1 総務部 総務課	4,479,214	2 鈴木 洋充	17,568,704	3 高い				14,748,000	4 高い	2,820,704	5 高い
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
4	参加と協働の推進	NPO活動振興事業	5,791,558	事務事業評価					・市民活動団体の自立と活動の充実を図るため、市民活動支援センターを設置し、市民活動団体に運営委託している。 ・センターの認知度、活用実績が低い、情報発信の手法や業務内容を検討する必要がある。	・市民活動支援センターの特色・自主性を高めるため、「しみんのひろば(イベント)」の開催を委託とした。 ・また、センター自ら活動団体に、取材やアウトリーチを行い、活動相談・支援、認知度の向上に努め、SNS等で発信した。	・市民活動支援センターでの情報発信の充実、しみんのひろばの企画運営を含め、センター運営の充実を図る。 ・コミュニティやボランティア活動センターとの連携など、活動組織間との連携の拡大・強化を図るとともに、人材育成に努める。				
	10105010		1,170,660	1 企画部 企画課	4,620,898	2 松井 茂明	5,127,241	3 高い				807,640	4 高い	4,319,601	5 普通
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
5	参加と協働の推進	男女共同参画推進事業	6,369,511	事務事業評価					・啓発業務については、市民提案に基づき市民活動団体に委託している。 ・市民にも、徐々に男女共同参画という「言葉」や「意識」が浸透しつつあるが、まだまだ馴染みが薄い、しっかり推進する必要がある。	・性教育をテーマに市民講座を開催し(委託)、健康で幸せな人生をつかむためのジェンダー平等の意識啓発を図った。 ・男女共同参画フェスティバルを中止。代替えの啓発として、男女共同参画作品募集を行った。	・男女共同参画への意識をより高めるため、男女共同参画推進プランⅡに基づき、一層の啓発活動や市民のスキルアップに努める。 ・また、男女共同参画フェスティバルでは、市民が参加しやすい環境づくり、意識が芽生える啓発手法等について検討する。				
	10106010		551,507	1 企画部 企画課	5,818,004	2 松井 茂明	4,903,905	3 高い				133,161	4 高い	4,770,744	5 普通
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
6	地域防犯・交通安全の推進	防犯啓発・地域巡回事業	30,449,508	事務事業評価					・犯罪の認知件数は減少傾向にあるが、無施錠による侵入盗や自転車盗、車上狙い等の犯罪が発生しているため、防犯意識が浸透するよう、啓発活動を継続的に実施する必要がある。	・安心安全なまちづくり推進協議会は書面での開催となったが、各団体の取組状況等を情報共有した。 ・防犯指導員4人による地域巡回を行った。 ・警察・防犯協会と連携した防犯キャンペーンの実施等により、特殊詐欺、自転車盗が減少した。	・各種団体と連携した防犯活動を継続して実施し、市民の防犯意識の向上に努めるとともに、地域の見守り活動を拡充し、犯罪被害の防止を図る。 ・防犯指導員による地域巡回を継続して実施し、犯罪抑止に努める。				
	10201010		19,308,984	1 総務部 総務課	11,140,524	2 鈴木 洋充	28,449,276	3 高い				17,262,049	4 高い	11,187,227	5 普通
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
7	地域防犯・交通安全の推進	地域防犯施設整備支援事業	7,631,714	事務事業評価					・地域要望に基づき、防犯灯の新設(51)に必要な経費の補助を行い、地域防犯力の向上が図られた。 ・防犯灯のLED化等(233)に必要な補助を行い、長寿命化が図られた。	・引き続き地域や現地の状況にあった防犯灯設置等に対する補助を行い、防犯力の向上を図る。 ・引き続き防犯灯のLED化を促進する。					
	10202010		3,401,000	1 総務部 総務課	4,230,714	2 鈴木 洋充	6,304,343	3 高い			4,248,000	4 高い	2,056,343	5 高い	
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												
	改善の効果		普通												

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		1 担当部課名	2 評価責任者氏名			
	事務事業名		R2決算額(円)	3 妥当性評価	4 有効性評価			
			5 効率性評価					
8	地域防犯・交通安全の推進 10203010 交通安全啓発事業	地域コミュニティ団体や警察等と協力し交通安全街頭指導活動や街頭キャンペーン等を行うことにより、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。また、高齢運転者の交通事故防止を目指し、運転免許証の返納支援及び後付の安全運転支援装置設置に対する補助を行う。	8,348,452	事務事業評価		・交通事故の発生件数は減少傾向にあり、令和元年の死亡事故は0件だった。 ・市民、関係団体、行政が一体となった交通安全意識の高揚と、交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少、特に高齢者の交通事故抑止を図る必要がある。	・地域、警察、交通安全推進協議会等と連携して、街頭指導等を行い、令和2年の交通事故の発生件数は前年より減少したが、死亡事故は増加した。 ・高齢者に対し、運転免許証自主返納支援及び後付の安全運転支援装置設置に対する補助を行い、交通事故抑止が図られた。	・重症・軽傷・物損事故は令和元年に比べ減少したが、死亡事故は増加した。 ・警察、関係諸団体と連携し、継続的に交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少、特に交通死亡事故抑止を図る。
			3,958,767	1 総務部 総務課				
			4,389,685	2 鈴木 洋充				
			7,239,845	3 高い				
			4,287,214	4 高い				
		2,952,631	5 普通			改善の効果	高い	
9	地域防犯・交通安全の推進 10203020 交通指導事業	市内全小学校区に交通指導員を配置し、児童の登下校時の事故防止を図るとともに、園児を対象とした交通安全教室の実施や各種交通安全イベントへの参加等、交通安全啓発活動を実施する。	33,907,811	事務事業評価		・児童の登下校時の交通安全指導及び園児の交通安全教室等を行い、事故防止と交通安全意識の定着を図る必要がある。	・各小学校区に交通指導員23人を配置し、児童の登下校時に交通安全指導を行った。 ・交通指導員の配置を見直し、24人から23人に減員した。 ・交通指導員が園児を対象とした交通安全教室で交通安全教育を行った。	・交通指導員による児童の登下校時の交通安全指導や見守り、園児への交通安全教室を継続実施し、交通事故防止と交通安全意識の定着を促進する。
			156,954	1 総務部 総務課				
			33,750,857	2 鈴木 洋充				
			31,256,458	3 極めて高い				
			631,708	4 高い				
		30,624,750	5 普通			改善の効果	普通	
10	地域防犯・交通安全の推進 10203030 交通公園運営事業	交通公園施設の利用を通して、交通安全に関する知識及びルールを身につけられるように、交通公園の適切な管理運営を行う。	2,474,663	事務事業評価		・主に保育園、小学校等の交通安全教室に利用される外、土曜日、日曜日、祝日に一般開放している施設であり、適切な施設管理を行うとともに、公園内の交通体験を通じて安全意識の高揚を図る必要がある。 ・設備や乗り物に故障や破損が発生しているため、施設の機能保持と利用者の安全確保を行う必要がある。	・シルバー人材センターへ施設管理を委託し、交通公園の開放を行った。 ・公園利用を通じ、子どもたちへ道路における危険や交通ルールの大切さを学ぶ機会を提供し、交通意識の高揚が図られた。 ・故障や破損に対して修繕を行い、施設の機能保持と利用者の安全確保を行った。	・公園施設の適切な維持管理を行う。 ・定期的な公園のPRを行い、利用促進を図る。
			1,433,934	1 総務部 総務課				
			1,040,729	2 鈴木 洋充				
			2,313,546	3 普通				
			1,280,751	4 普通				
		1,032,795	5 普通			改善の効果	普通	
11	地域防犯・交通安全の推進 10204010 交通安全施設整備事業	安全な道路交通を確保するため、市内の交通危険箇所には道路反射鏡等交通安全施設を整備するとともに、施設の適切な点検・維持管理を行う。	6,672,778	事務事業評価		・公衆用道路における危険箇所には道路反射鏡等交通安全施設を設置して改善を行い、交通事故の防止を図る必要がある。 ・道路反射鏡等の適切な維持管理を実施する必要がある。	・地域からの道路反射鏡等の設置要望に対し、必要に応じた施設設置や危険防止のアドバイスなどを実施し、危険箇所の改善を図った。 ・道路反射鏡等の修繕を行い、不要となった交通安全施設を撤去することにより、市民の安全な道路交通を確保した。	・道路反射鏡等の設置要望箇所について、地域と協議を行い、真に必要な場所を選定し、危険箇所の改善を図る。 ・修繕の迅速かつ適切な対応を行うとともに、不要となった交通安全施設の撤去を進める。 ・小学校の夏休み期間を利用して交通指導員による道路反射鏡等の状況確認を行い、適正管理に努める。
			4,747,860	1 総務部 総務課				
			1,924,918	2 鈴木 洋充				
			6,180,518	3 高い				
			4,146,010	4 高い				
		2,034,508	5 普通			改善の効果	普通	
12	地域防犯・交通安全の推進 10204030 交通安全施設維持管理事業(渥美支所)	安全な道路交通を確保するため、道路反射鏡等の交通安全施設の修繕等を実施するとともに、適切な維持管理を行い、交通事故を防止する。	3,204,889	事務事業評価		公衆用道路に設置されている道路反射鏡等の交通安全施設の適切な維持管理を実施し、交通事故防止を図る必要がある。	破損した施設の補修及び道路の危険箇所に視線誘導標を設置し、市民の安全な道路交通を確保した。	交通安全施設の破損状況及び道路の危険箇所等の情報連絡を密にし、迅速かつ適切な対応を行う。
			1,707,855	1 渥美支所 地域課				
			1,497,034	2 鈴木 雅也				
			3,539,582	3 高い				
			1,558,282	4 高い				
		1,981,300	5 普通			改善の効果	普通	
13	環境共生まちづくり 10301010 エコ・ガーデンシティ構想推進事業	地域資源を活用し、環境と共生する豊かで持続する地域を目指した「たはらエコ・ガーデンシティ構想」の実現を図る。また、たはらエコ・ガーデンシティ推進計画の一層の推進を図るため、総合調整、進行管理を実施する。	11,064,018	事務事業評価		・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助等の地球温暖化防止活動や菜の花エコプロジェクトの普及啓発を行っている。 ・脱炭素社会の実現に向けて、新たな施策を検討を進めるとともに、市民、事業者と一体となって事業を進めていく必要がある。	・省エネルギー普及促進事業及び菜の花エコプロジェクト推進事業を統合した。 ・ゼロカーボンシティの表明を行い、脱炭素に向けた取組の検討を行った。	・関係計画を改定するとともに、脱炭素に向けた取組を検討・実施する。 ・脱炭素社会の実現に対する理解促進のため、市民や事業者に向けた普及啓発活動等を行い、気運の醸成を図る。
			4,976,773	1 市民環境部 環境政策課				
			6,087,245	2 河合 義弘				
			20,285,369	3 高い				
			8,233,268	4 高い				
		12,052,101	5 普通			改善の効果	普通	
14	環境保全の推進 10402010 環境保全対策事業	田原市環境保全計画の推進と進行管理及び、各種関連計画の総合的な推進を図る。	36,480,725	事務事業評価		・田原市の環境状況を把握するため、水質、大気、振動・騒音といった生活環境に関する各種測定を実施している。測定結果について、異常値等が見受けられる場合には必要に応じて現場の確認、原因者への指導を行っている。 ・堆肥製造事業所や野焼き等の悪臭に対する苦情が多い。	・環境に関する報告書を作成し、HPIにて公表。市民に対して環境への意識付けを行った。 ・環境パトロールにより、堆肥製造事業所の定点監視、堆肥の適正散布呼び掛けを実施。苦情発生時には現場を確認し、原因の特定、適正な指導を行った。	・水質、大気汚染、騒音・振動調査等を継続して行い、現状把握に努め、健全な生活環境の保全を図る。 ・悪臭課題については、今後も関係各課と協力して堆肥製造事業所の適正管理、堆肥の適正散布に対する理解を図るとともに、原因者に対して適正な指導を行う。
			9,861,414	1 市民環境部 環境政策課				
			26,619,311	2 河合 義弘				
			26,490,877	3 高い				
			7,883,137	4 高い				
		18,607,740	5 普通			改善の効果	高い	

No	施策名	事務事業の目的	R1決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価						
	事務事業名		R2決算額(円)											
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価						
			内 人件費											
15	環境保全の推進	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及推進を図る。	7,293,492	事務事業評価							合併処理浄化槽整備支援は下水道等の整備対象区域外の地域に居住する市民の生活環境整備対策として実施していく必要がある。下水道等の普及率は95%を超えており、申請件数は年度により変動がある。	財源となる国県費の制度改正に合わせて、補助金要綱の改正を行った。ホームページや広報誌で補助制度の周知を図った。	下水道の計画区域外における定住化促進の観点から、引き続き適正な助成を実施する。	
	10402020		4,513,733	1 上下水道部 下水道課	2 川口 容央	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				
	2,779,759		3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い							
	3,586,672		1 高い	2 高い	3 普通			改善の効果						普通
	2,168,858		4 高い	5 普通										
1,417,814	5 普通													
16	環境保全の推進	中小企業者及び畜産事業者等が行う公害防除施設等の整備事業に対し事業費助成を行うことにより、公害防止を推進する。	3,067,666	事務事業評価							畜産事業者及び食品製造業者から水質汚濁防止施設に脱水機を設置する申請があった。	事業者に補助金を交付するだけでなく、事業者が公害防止施設の適正な管理をすることを指導し、包括的な公害の発生防止抑制を図る。		
	10402080		2,000,000	1 市民環境部 環境政策課	2 河合 義弘	3 普通	4 普通	5 普通	改善の効果	普通				
	1,067,666		3 普通	4 普通	5 普通	改善の効果	普通							
	2,687,548		1 普通	2 普通	3 普通			改善の効果					普通	
	1,897,000		4 普通	5 普通										
790,548	5 普通													
17	衛生対策の推進	利用者への安定したサービスを行うため、田原・渥美両斎場、葬祭場及びペット火葬場の適正な維持管理と修繕工事を行う。	61,215,557	事務事業評価							・旧施設は老朽化しているため、閉鎖まで安定して利用できるよう施設の修繕を実施した。 ・安定したサービスの提供のために、包括委託した新斎場の維持管理業務の課題を抽出して、見直し検討作業を実施していく必要がある。	・閉鎖時期を見据え、田原斎場の火葬炉修繕工事及び渥美斎場の臨時灯油用タンクの設置修繕を実施し、安定した火葬業務を実施した。	・包括委託した新斎場の維持管理業務の課題を抽出して見直し検討作業を実施し、更に安定したサービスの提供を図る。 ・令和4年度改正に向け、新斎場施設に合わせた使用料の見直し、検討作業を行う。	
	10501010		33,776,412	1 市民環境部 環境政策課	2 河合 義弘	3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い				
	27,439,145		3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い							
	62,995,455		1 高い	2 高い	3 高い			改善の効果						高い
	26,247,422		4 高い	5 高い										
36,748,033	5 高い													
18	衛生対策の推進	老朽化した斎場施設の建替えを行うため、建設に向けた業務を行う。	758,380,187	事務事業評価							・老朽化した現在の両斎場を、田原に集約して建替えるため事業を推進中。 ・令和3年度での整備事業完了に向け業務を実施している。	・田原斎場の新築工事等を実施した。 ・新斎場の附帯工事及び旧斎場解体工事に着工し、次年度にかけて工事を実施した。	・新斎場の増改築工事及び駐車場整備工事を、令和3年度中に施工する。 ・旧渥美斎場解体工事及び関連する委託業務を実施する。	
	10501030		736,267,640	1 市民環境部 環境政策課	2 河合 義弘	3 極めて高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				
	22,112,547		3 極めて高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い							
	1,632,200,071		1 高い	2 高い	3 高い			改善の効果						高い
	1,614,878,083		4 高い	5 普通										
17,321,988	5 普通													
19	衛生対策の推進	防除活動及び衛生害虫駆除活動を推進し、公衆衛生の向上を図る。 水道・井戸等の衛生管理や食中毒の予防対策を行い、公衆衛生の向上を図る。	4,365,145	事務事業評価							・食中毒警報発令時の市民への周知や、害虫駆除用消毒機の貸し出しを実施した。 ・専用水道、井戸等の適正な管理を推進するため、水道施設の立入検査や啓発を推進する必要がある。	・簡易専用水道の立入検査を実施し、検査、衛生管理指導を実施した。(12件)	・食中毒警報発令時に同報無線により周知し、予防に努める。 ・災害発生時の防疫活動を実施する。 ・専用水道、簡易専用水道の衛生指導を計画的に実施する。	
	10502010		267,476	1 市民環境部 環境政策課	2 河合 義弘	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通				
	4,097,669		3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通							
	4,801,766		1 高い	2 高い	3 高い			改善の効果						普通
	60,308		4 高い	5 普通										
4,741,458	5 普通													
20	衛生対策の推進	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止するため、狂犬病予防法に基づき犬の登録・管理と予防注射を行う。 関係機関と連携して野犬対策を行う。	7,661,485	事務事業評価							狂犬病予防注射の実施率は、ほぼ横ばいである。(R2年度89.9%) ・野犬は捕獲が難しく、特に成犬は捕獲器を設置してもなかなか捕獲できない。	狂犬病予防注射の通知、未実施者への再通知を発送し、実施率の向上に努めた。 ・狂犬病予防注射実施頭数 3,357頭 ・新規登録頭数 272頭 ・動物愛護センター捕獲頭数 17頭	狂犬病予防注射の実施率の向上を図る。 愛知県動物愛護センターと連携し、野犬対策に努める。	
	10502020		1,322,135	1 市民環境部 環境政策課	2 河合 義弘	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通				
	6,339,350		3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通							
	8,426,645		1 高い	2 高い	3 高い			改善の効果						普通
	2,593,419		4 高い	5 普通										
5,833,226	5 普通													
21	資源循環の推進	廃棄物の適正処理及び減量化等を推進するため、PR等により住民意識の向上を図り、ごみ分別の徹底や資源の再利用を促進する。	97,068,521	事務事業評価							・ほーもん講座や小学校環境学習(炭生館)等でごみ減量・資源化を推進した。 ・レジ袋の替わりになるよう、家庭系有料化ごみ袋の一枚単位での販売を実施した。 ・ごみ分別パンフレットやごみ収集カレンダーの見直しを行った。 ・豊橋田原ごみ処理施設整備計画を改訂した。	市民がより分かりやすくごみ出できるよう、分別について検討する。※令和7年度からの生ごみ分別含む。 新焼却施設稼働に向け、施設建設・運転管理する事業者の選定、広域施設の運営体制の事務を進める。		
	10601010		69,623,948	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 藤井 透	3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い				
	27,444,573		3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い							
	93,817,974		1 高い	2 高い	3 高い			改善の効果					高い	
	68,857,538		4 高い	5 高い										
24,960,436	5 高い													

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
事務事業名				R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
		内 直接事業費		3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
22	資源循環の推進	ごみステーション等に出された一般廃棄物の分別収集を行い、ごみの減量化及び資源ごみの再利用を促進し、生活環境の向上を図る。	318,623,138	事務事業評価	・ステーション方式により分別収集し、ごみ減量化や資源ごみの再利用に向け、資源ごみの分別回収に積極的に取り組んでいる。	・地域の要望等により、ごみステーションの移設や集塵箱の増設、カラス除けネットの設置等を実施した。 ・自治会等と協力して、ごみステーションに啓発看板(ラミネート)を設置した。	・引き続き、資源ごみの再利用を推進するため、排出方式や収集頻度、収集方式等、随時見直しを行う。 ・ごみ処理広域化を進めるにあたり、ごみ中継施設を整備していく。	
	10602010		307,839,847	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	ごみ収集事業		10,783,291	2 藤井 透				
			321,093,521	3 極めて高い				
			311,304,803	4 高い				
	9,788,718	5 普通	改善の効果	普通				
23	資源循環の推進	不法投棄を防止するため、不法投棄防止対策や啓発により住民意識を向上し、生活環境の保全を図る。	7,423,072	事務事業評価	・パトロールや看板設置、広報でのPR等を実施している。	・不法投棄やポイ捨ての抑止力として、市内パトロールの実施を行うとともに、看板設置・広報等により不法投棄防止に対する啓発を行った。 ・環境省から監視カメラを借受け、取組みを行った。	・引き続き、市内パトロールと啓発による意識向上を図る。また、不法投棄の多い地域は、重点的にパトロールを実施するとともに、監視カメラの設置も検討していく。	
	10602020		943,750	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	不法投棄防止対策事業		6,479,322	2 藤井 透				
			7,121,007	3 普通				
			1,166,532	4 普通				
	5,954,475	5 普通	改善の効果	普通				
24	資源循環の推進	田原リサイクルセンター(炭生館)から搬出される固形飛灰及び焼却残渣の埋立処理を行うとともに、場内から排出される浸出水を適正に処理する。	19,082,257	事務事業評価	・炭生館から搬入される焼却残渣等の受け入れ処理を計画的に実施している。 ・水処理施設は経年劣化しているため、適切な運転維持管理、更新が必要である。	・水処理施設設備の修繕を実施し、処理水の適正処理に努めた。	・計画に沿って埋立処理作業を進める。 ・処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。	
	10603010		14,599,601	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	第二東部最終処分場運営事業		4,482,656	2 藤井 透				
			21,522,873	3 高い				
			16,840,554	4 高い				
	4,682,319	5 普通	改善の効果	普通				
25	資源循環の推進	搬入される割れガラス、陶磁器等の不燃ごみの埋立処理を行うとともに、場内から排出される浸出水を処理する。	10,235,480	事務事業評価	・処分場に搬入されるごみの適正化に努め、ごみの減量化を図る必要がある。 ・水処理施設及び重機は経年劣化しているため、適切な運転維持管理、更新が必要である。	・搬入ごみの分別、選別を行い、ごみの減量化を行った。 ・水処理施設の設備機器の修繕を実施し、処理水の適正管理に努めた。	・引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。	
	10603020		8,569,025	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	渥美最終処分場運営事業		1,666,455	2 藤井 透				
			10,738,890	3 高い				
			9,145,551	4 高い				
	1,593,339	5 普通	改善の効果	普通				
26	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、搬入廃棄物を選別処理により資源物、可燃物、不燃埋立物に分け、粗大ごみを破砕機により破砕選別処理を行い、減量化、資源化を図る。	75,885,072	事務事業評価	・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別・選別し、資源の再利用化及び埋めるごみの減量化を図る必要がある。	・搬入ごみの分別・指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・水処理施設設備の修繕を実施し、処理水の適正処理に努めた。	・引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・破砕施設の運転維持管理をするともに、処理水を適正管理するため、老朽化した、水処理施設設備等の修繕を実施する。	
	10603030		47,568,024	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	東部資源化センター運営事業		28,317,048	2 藤井 透				
			76,707,718	3 高い				
			44,305,341	4 高い				
	32,402,377	5 普通	改善の効果	普通				
27	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理、剪定枝・草等のチップ化処理及び不燃ごみ等の埋立処分を行い、減量化、資源化を図る。	95,780,769	事務事業評価	・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別・選別し、資源の再利用化及び埋めるごみの減量化を図る必要がある。 ・水処理施設及び重機は経年劣化しているため、適切な運転維持管理、更新が必要である。	・水処理施設設備の修繕を実施し、排出水の適正化を行った。	・引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・処理水を適正管理するため、老朽化した、水処理施設設備等の修繕を実施する。 ・当センター内のごみ焼却施設が役割を終え停止していることから、跡地利用を考慮した施設整備方針を検討する。	
	10603040		68,094,012	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	赤羽根環境センター運営事業		27,686,757	2 藤井 透				
			96,043,985	3 高い				
			67,008,415	4 高い				
	29,035,570	5 普通	改善の効果	普通				
28	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの適正な分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理及び不燃ごみ等の最終処分場への搬出処理(埋立処分)を行い、減量化、資源化を図る。	29,960,977	事務事業評価	・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別・選別し、資源の再利用化及び埋めるごみの減量化を図る必要がある。	・搬入ごみの分別・指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・分別・選別がスムーズにできるように、分別かごの増設や分解のための工具類のメンテナンスを実施した。	・引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・破砕及び焼却処理施設と連絡を密にし、ごみ運搬を円滑に行う。	
	10603050		13,620,307	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	渥美資源化センター運営事業		16,340,670	2 藤井 透				
			30,483,350	3 高い				
			13,332,251	4 高い				
	17,151,099	5 普通	改善の効果	普通				

No	施策名	事務事業の目的	R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
29	資源循環の推進	埋立終了後の処分場の維持管理を行うとともに、処分場閉鎖に向けて処分場内の整備や返還用地の整理を行う。	<b>4,495,163</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の埋立処分が完了し、返還を目指して地元と調整している。</li> <li>維持管理を行うとともに、浸透水等の水質検査を実施している。</li> <li>令和3年度から造成等の工事を実施する予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田原斎場等の工事残土を覆土として受け入れ、購入費用を圧縮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元土地を引渡すため、造成計画、道水路の整備計画を地元と協議し、造成工事、道水路工事を施工するとともに、換地計画の支援を行う。</li> </ul>
	10603060		2,131,821	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	片浜埋立処分場運営事業		2,363,342	2 藤井 透				
			<b>12,133,887</b>	3 高い				
			9,154,443	4 普通				
		2,979,444	5 普通	改善の効果	普通			
30	資源循環の推進	PFI事業終了後の包括委託契約により、田原リサイクルセンターの運営及び管理を民間事業者へ委託し、ごみの再資源化を図る。	<b>1,363,707,969</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年から、もやせるごみの炭化処理をPFI事業から直営に変更した。</li> <li>豊橋市との令和7年度からのごみ処理広域化までの委託契約としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングにより運営状況や維持管理状況を確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理広域化までモニタリング業務を委託業者と一緒に実施し、課題等を情報共有しながら運営する。</li> </ul>
	10603080		1,359,316,203	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	田原リサイクルセンター運営事業		4,391,766	2 藤井 透				
			<b>623,074,368</b>	3 普通				
			620,513,812	4 普通				
		2,560,556	5 普通	改善の効果	普通			
31	資源循環の推進	旧リサイクルセンター及び長田最終処分場跡地を適正に管理する。	<b>12,662,365</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>旧リサイクルセンター水処理施設は経年劣化しているため、適切な運転維持管理、更新が必要である。</li> <li>長田最終処分場跡地については引き続き、処分場用地を返還するための調整をする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処分場を適正管理するため、水質検査及び施設の維持管理を実施した。水質検査の結果は基準値内である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理水を適正管理するため、老朽化した水処理施設設備の修繕を実施する。</li> <li>長田最終処分場跡地の返還にあたっては、処分場設置当時は農地として返還することになっていたが、地権者の高齢化と後継者不足から返還後の土地の活用方法が見出せていない。今後、個々に地権者と話し合いを行い、返還するための方策を検討する。</li> </ul>
	10603090		11,301,394	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	最終処分場跡地管理事業		1,360,971	2 藤井 透				
			<b>12,419,529</b>	3 高い				
			11,269,903	4 高い				
		1,149,626	5 普通	改善の効果	普通			